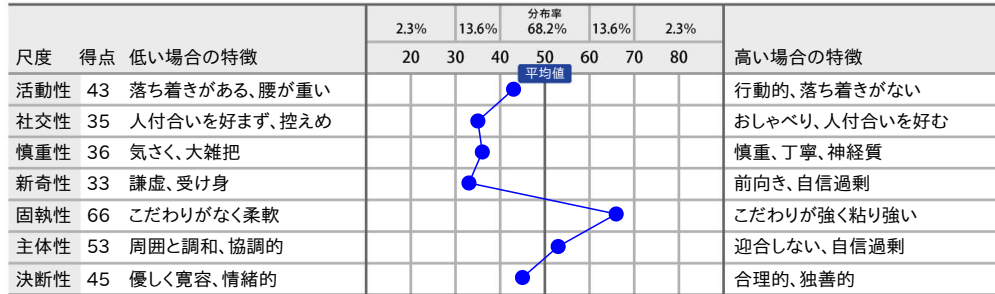
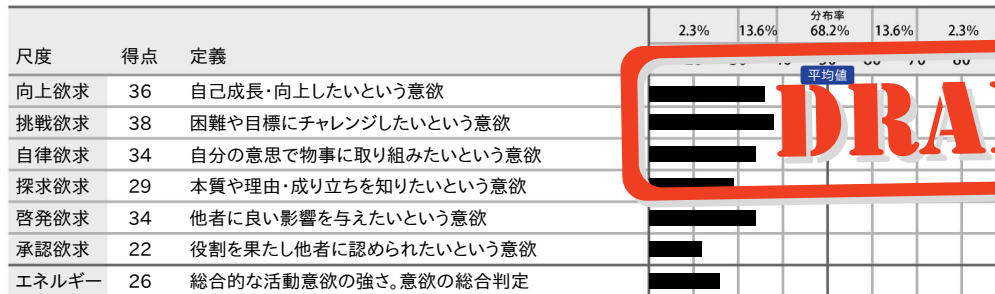


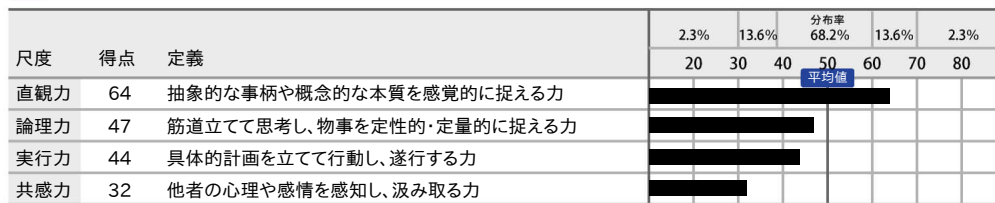
1 性格の傾向 性格の傾向を測定しています。とっさの反応や無意識の行動に現れやすい特徴です。



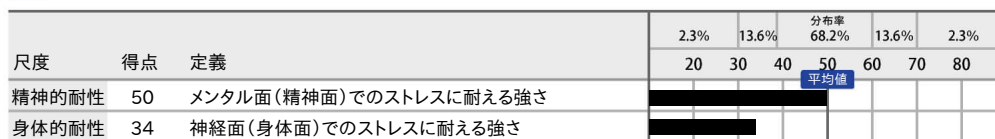
2 意欲の傾向 活動意欲の高さを測定しています。数値が高いほど、意欲的に仕事に取り組んだり、今後の能力開発の可能性が高い。



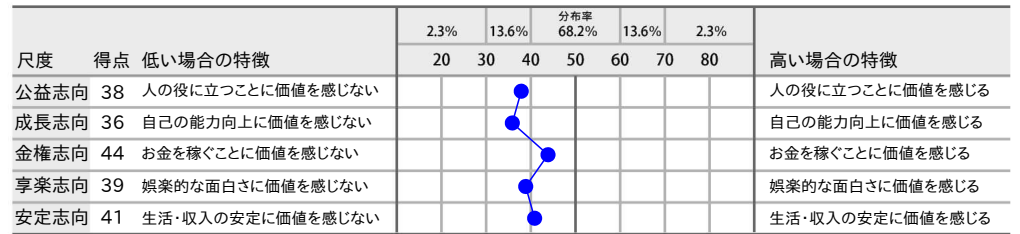
3 思考力の傾向 思考や意志、感覚、感情に基づく能力を測定しています。数値が高いほど、実務面での高度な能力発揮の可能性が高い。



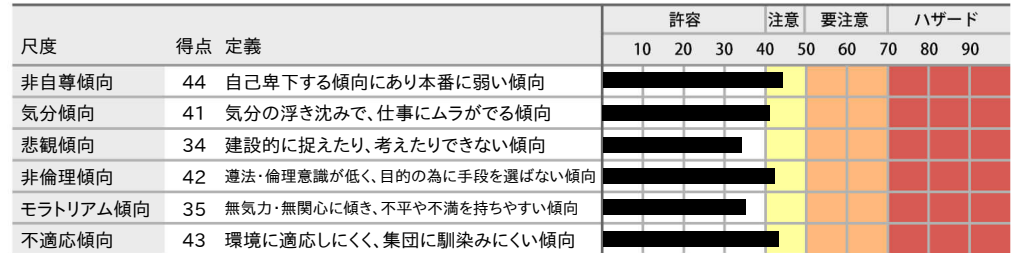
4 ストレス耐性 ストレスへの感度・許容量を測定しています。数値が高いほど、ストレスに対して鈍感で、ストレス耐久力が高くストレスに強い



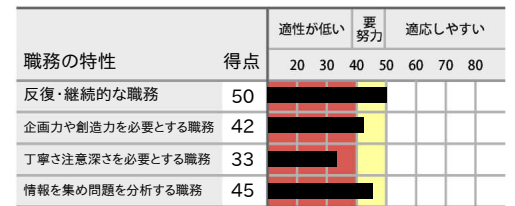
5 価値観の傾向 働くことに対する価値観を測定しています。本人にとっての働くことの意義や価値の傾向を表しています。



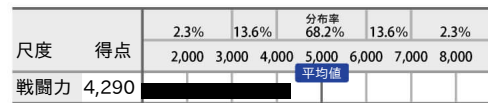
6 ネガティブ傾向 働く上でマイナス要因となる心理・情緒面の傾向を測定しています。数値が高いほど、仕事上の弊害やトラブルの可能性が高い。



7 職務適性 仕事する上で要求される個性や能力のタイプ別の適性(職務適性)を測定しています。数値が高いほど、適性が高い。



8 戦闘力 主要な資質要素を掛け合わせた総合力を測定し、ビジネスにおける戦闘力の高さを表します。



9 虚偽回答の傾向 虚偽と予測される回答の度合い。



人物像および人材活用に関するコメント

性格面が長所として現れると、意志が強く信念がある、人当たりがよい、思いやりがあるといった面が見受けられる。一方で短所として現れると頑固で融通が利かない、表面的、やや優柔不断といった印象を与えることもある。精神面では平和に働く限り仕事ストレスによる精神的な問題は出にくい。また、身体面は神経が繊細でストレスで簡単に身体を壊しやすい。意欲や思考力面での短所として、役割意識に欠け利己的、仕組みや根拠等に興味が無く本質理解に乏しい、感受性に欠け心理や感情理解が困難、計画性に乏しくルーズといった傾向がでている。現時点では、際立って資質を活かせる仕事は特定できない。様々な職務内容にチャレンジしつつ仕事を通じて本人の能力を活かせる相性のよい職務が発見できることを期待する。長時間労働やストレスで体調を壊しやすいので、労働時間や労働日数面では無理は禁物といえる。